

代表・一般質問

区政を



本会議の録画中継を
区議会ホームページでご覧いただけます

ホームページ <http://www.gikai-adachi.jp>

用を継続しながら、基金新設の研究を行っていく。

平成20年度から実施される特定健診等の際、心電図検査や眼底検査等を実施していく。

【問】 まちづくりを含め、基金の積み増しが必要ではないか。

技術的な検討状況はどうか。

まちづくりには、公的住宅を最大限活用すべきではないか。

【市街地】 鉄道高架化の基金は、計画的に積み増していく。まちづくりについても、基金の設置も含め的確に対応していく。今年度は、東武鉄道とコスト等の比較検討を行う。その後、国土交通省との比較設計協議や都市計画手続きを経て、平成23年度の事業着手を目指していく。UR都市機構や都へ積極的に働きかけていく。

祖国日本の未来を思う



自由民主党
せぬま 剛 議員

区の道徳教育の全体計画を示せ

【問】教育再生会議では、道徳を教科として充実させ、人間として必要な規範意識を学校で身につけさせると明記している。

国を愛する心を柱に、「思いやり」「感謝」「誠実」等、道徳的価値をしっかりと心に受け止めるべきではないか。



【教育指導】現在、各学校では学習指導要領に基づき、教育課程上に道徳教育を明確に位置づけるとともに、全体計画、年間指導計画を作成し、区教委に提

出している。

また、各学校に対し、毎年計画を見直しさせ、指導主事が指導・助言を行っている。

人権教育は慎重を期さねばならない

【問】自分さえ良ければという風潮がまかり通る現在、人権の名のもとにこれを濫用すれば、他人の権利を否定する非人間的社会となってしまう。

区の教育は、躰を重んじ人としての義務を教えるべきではないか。

【教育指導】区教委では、学校が「権利のみを主張する等の間違った人権ではなく、義務と責任を果たす等、正しい適切な人権」について指導することを基本とし、躰を含めて社会の一員としての自覚を育むよう指導を行っている。

足立区議会公明党

妊婦健診の公費負担 14回への拡大と、 特定健診の無料化について



公明党
つすい 浩一 議員

シンクタンクの活用を！

【問】自治体間競争に勝ち残り安心して暮らせる足立区の実現のため、政策形成能力を高める必要がある。民間丸投げでなく、区の特性を生かし、職員も加わった足立区型シンクタンクの設置について、区の見解を伺う。

【区長】シンクタンク的な組織は必要である。足立区の将来像や行財政を含めた総合的な方向性等の検討を中心に考えている。

また、区の職員が中核となり、区に根ざした政策立案が不可欠である。各課が持つデータの活用についても、シンクタンクの設置とあわせて検討していく。

特定健診の自己負担軽減を！

【問】我が党は、特定健診制度の自己負担無料化の緊急要望を行った。区長は「当面の間、自己負担は頂戴しない」と発言したが、区の見解を伺う。

また、後期高齢者健診もこれに含まれるのか。

【区民】特定健診・特定保健指導の自己負担金は、第1期実施計画における平成20年度から平成24年度までは無料とする。

後期高齢者健診についても、

特定健診等と同様に実施する。

妊婦健康診査の公費負担回数を拡大すべきである

【問】区は4月より妊婦健診の公費負担回数を2回から5回へ拡大するとしていた。

しかし、我が党は、区に14回への回数拡大の緊急要望を行った。区長は記者会見で、要望に沿って4月より実施したいと述べたが、事業内容を伺う。



【衛生】妊婦健康診査の公費負担は、5回への拡充や区独自の対策を準備していたが、23区が多くが14回制を採用している。

当区も、妊婦健康診査の公費負担回数を14回とするともに、超音波検診公費負担回数を2回として、平成20年度から事業を開始する考えである。

C型肝炎対策について

【問】C型肝炎の疑いのある区

民の検診や、治療等の相談窓口の設置が必要と思うが、区の見解を伺う。

【衛生】肝炎ウイルスの相談は保健総合センターが窓口となり、保健指導ならびに専門医療機関への受診勧奨等を行っている。

【問】つくばエクスプレスや日暮里・舎人ライナーの開通、また「はるかぜ」等も拡充し、足立区も利便性が向上した。

地球温暖化対策の視点からもノーマイカーデーを設け、公共交通機関を利用するよう推進し

足立の未来を支える 産業支援と緑の保全を！



公明党
小泉 ひろし 議員

区内産業を強力に支援せよ！

【問】区内産業情報のデータベース構築で、様々な有効活用ができる。活用可能なホームページを開設すべきと思うがどうか。

また、「都立武道館」等を会場にあだち産業展や見本市等を企画し、区内外に大きく「メイドインあだち」を発信すべきと思うが、区の見解を伺う。

【産業経済】東京都中小企業振興公社のデータベースと、4月開設予定の産業経済ホームページをリンクさせ、区内事業者の情報収集や受発注等に役立つホームページを目指していく。

【土木】マイカーの利用抑制は、大きな効果が期待できる。自転車や公共交通機関の利用促進を含め環境意識の啓発を図り、都が提唱するノーマイカーデーを参考に検討していく。

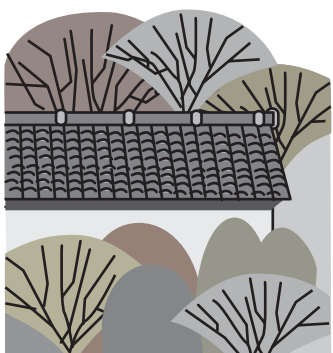
【問】「あだちキッズぱれっと」の円滑な運用には、校庭の夜間照明の設置が重要である。計画的に設置していくべきと思うが、区の見解を伺う。

【教育事業】平成20年度予算案では、3箇所分の設置経費を計上している。今後、学校開放団体の利用状況等も踏まえ、設置の可否について検討していく。

また、区内の地場産業を広くPRするため、さらに大会場で産業展等を開催する必要がある。

各イベントの見直しと、関係団体と協議し検討していく。

区内の緑地を保全せよ！



【問】緑の実態調査では、今後67年で全ての屋敷林が喪失す